

化学療法計画書

ID						指示医師:
氏名						
生年 月日						
実施部署		発行日				
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50	投与開始予定日: 年 月 日
						投与終了日: 年 月 日

病名	乳癌
治療法	ハラヴェン単独療法

	1
抗癌剤・商品名	ハラヴェン
規格	1mg/2mL
一般名	エリ布林
一日投与量(規定)	1.4mg/m ²
患者情報から算出した 一日投与量	2.1 mg
実際の投与量	2 mg
	1.3 mg/m2
投与日	day1,8
1クール期間	21日間
予定クール数	
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施

適応基準	手術不能又は再発乳癌
推奨 経口剤	○このレジメンは軽度催吐性リスク群です。推奨される経口制吐剤はありません。
禁忌	1. 高度な骨髄抑制のある患者 2. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 3. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
中止基準	各サイクルの1週目…好中球数: 1,500/mm ³ 以下、血小板数: 100,000/mm ³ 以下、非血液毒性: Grade2以上 AST/ALT: 施設基準値上限の2.5倍以上(肝転移のある患者では5倍以上)、総ビリルビン: 施設基準値上限の1.5倍以上 各サイクルの2週目…好中球数: 1,000/mm ³ 以下、血小板数: 75,000/mm ³ 以下、非血液毒性: Grade2以上
副作用	●ハラヴェン 重大 1.骨髄抑制(好中球減少・白血球減少98.8%、リンパ球減少54.3%、Hb減少32.1%等) 2.感染症(敗血症・肺炎 頻度不明) 3.末梢神経障害[末梢性ニューロパシー](24.7%) 4.肝機能障害(6.2%) 5.間質性肺炎(1.2%) その他 疲労(44.4%)、食欲減退(43.2%)、悪心(42.0%)、口内炎(38.3%)、味覚異常(33.3%)、 粘膜の炎症、骨痛、嘔吐、便秘、下痢、腹痛、発熱、倦怠感、浮腫、頭痛、めまい、感覚鈍麻、 血中アルブミンの低下、耐糖能障害、筋肉痛、関節痛、咳嗽(5～30%) 等
備考	

ハラヴェン単独療法 観察記録

所要時間:1時間

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日		クール	回目	施行前内服薬()		入外()		
医師	指示医師: ハラヴェン (mg) 一般名(エリ布林)			抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由		抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加		
	□投与決定 □未決定 □延期・中止					投与 開始時間	調剤	実施
投与指示	本体	側管						
	生食100mL				1時間かけて点滴【100mL/h】			
	生食100mL + グラニセトロン1A + デカドロン 2 A				30分かけて点滴【200mL/h】			
	生食50mL + ハラヴェン				全開で急速滴下			
	本体終了後抜去							